

## 大会開催にあたって

今年度の研究大会は、東洋大学白山キャンパスに会場をお借りして開催します。26 名の方々が個人研究発表を行います。シンポジウムでは、「数学的経験の現象学」を取り上げ、国際的に活躍されている論理学者の岡田光弘氏、先頃『数学の現象学』と題する意欲的な著書が出版された鈴木俊洋氏、フランス・エピステモロジーと現象学における数学の哲学に造詣の深い中村大介氏をお招きして、ご提題頂きます。当該テーマについての徹底的な討論にぜひご参加下さい。北欧現象学会からはアレクサンドロ・サリーチェ氏が、韓国現象学会からはテーヒー・キム氏が特別講演者として参加して下さいます。二日目の午後には、魅力的なテーマの二つのワークショップと、**男女共同・若手研究者支援ワークショップ**が開催されます。多くの会員諸氏のご参加をお待ちしております。関心をお持ちの非会員の方々にも、ぜひ情報提供をお願い致します。

企画実行委員長

## プログラム

11 月 29 日 (土)

9:15-12:30 **個人研究発表** (発表 30 分・質疑応答 15 分)

### 第 1 会場 (5 号館 5103 室)

9:15 増田隼人 (東洋大学)

受動的総合における習慣性の形成

10:05 葛谷潤 (東京大学)

フッサールと知覚の内容

10:55 秋葉剛史 (成城大学)

ブレンターノの真理論はどこに向かっていたのか

11:45 植村玄輝 (立正大学)

現象学的実在論と感覚の関係説

### 第 2 会場 (5 号館 5102 室)

9:15 高屋敷直弘 (法政大学)

存在を巡る Sagen と Nennen の秘密——ハイデガー『存在と時間』を中心に

10:05 高井寛 (東京大学)

『存在と時間』における「良心」について

10:55 中川萌子 (京都大学)

ハイデガーにおける脱 - 底的根拠としての存在

11:45 庄司綾 (法政大学)

カッシーラーの『象徴形式の哲学』における「現象」と「現象学」——「基礎現象」からの考察

### 第 3 会場 (5 号館 5101 室)

10:05 景山洋平 KAGEYAMA Yohei (日本学術振興会・東京大学)

Objektivität als Medium der Erfahrung bei Heidegger mit Bezugnahme auf gegenwärtige Sprachphilosophie

10:55 石原悠子 ISHIIHARA Yuko (University of Copenhagen)

The "transcendental" orientation of *Sein und Zeit*

11:45 宮原克典 MIYAHARA Katsunori (日本学術振興会・立教大学)

Perceiving other agents: Bodily self-awareness in other perception

12:30-13:50 昼休み・第 1 回委員会

(5 号館 5206 室)

13:50-14:50 **【特別講演】(5 号館 5208 室)**

「集団 - 同一化の現象学的理論」

"A Phenomenological Theory of Group-Identification"

アレクサンドロ・サリーチェ (Alessandro Salice) 氏  
(University of Copenhagen)

特定質問者：アンドレア・アルトブランド (Andrea Altobrando) 氏 (北海道大学)

15:00-18:00 **【シンポジウム】(5 号館 5208 室)**

真理が生成するとき——数学的経験の現象学とその批判的吟味

提題者：岡田光弘氏 (慶應義塾大学)

鈴木俊洋氏 (上智大学)

中村大介氏 (共愛学園前橋国際大学)

司会：野家啓一氏 (東北大学)

18:30 懇親会 会場：三丁目食堂

8 号館地下 1 階

(会費 4,000 円)

11 月 30 日 (日)

9:00-12:15 **個人研究発表** (発表 30 分・質疑応答 15 分)

### 第 1 会場 (5 号館 5103 室)

9:00 竹中正太郎 (大谷大学)

フッサール現象学における「現実性」の構成をめぐる

9:50 伊藤均 (関西学院大学)

フッサールの部分論と生活世界——ゲシュタルトクライス理論に基づく検討の試み

10:40 橋詰史晶 (早稲田大学)

フッサール現象学における「カントの意味での理念」

11:30 富山豊 (日本学術振興会・北海道大学)

フッサール初期時間論における過去の構成と過去の実在性

### 第 2 会場 (5 号館 5102 室)

9:00 亀崎健司 (関西学院大学)

シェーラーの価値直観とフッサールの範疇的直観

9:50 神谷健 (早稲田大学)

形式的告示と固定指示子

10:40 松井隆明 (東京大学)

存在者の存在を問うとはどのようなことか

11:30 城田純平 (名古屋大学)

生概念の二重性と現存在——初期ハイデガーの思想形成における根本的展開

### 第 3 会場 (5 号館 5101 室)

9:00 樋口雄哉 (同志社大学)

レヴィナスにおける言語と意味

9:50 川崎唯史 (大阪大学)

メルロ＝ポンティと愛の現象学

10:40 河合翔 (大阪大学)

メルロ＝ポンティにおける「反射」に関する記述と脳性まひの身体経験——乳児期からの再検討

11:30 小原拓磨 (東北大学)

時間に取り憑いた死

——前期デリダにおける死の問題——

### 第 4 会場 (5 号館 5105 室)

9:50 源河亨 (慶應義塾大学)

知覚の対象範囲を見定める

10:40 呉羽真 (日本学術振興会・立教大学)

ジェイムズの意識論とその現代的意義——経験の〈私有化〉を巡って——

11:30 竹谷美佐子 (大阪大学)

舞踊の稽古における身体の図式化と間身体性

## お知らせとお願い

**1 会費納入** 学会費(年間3,000円)を同封の振込用紙にてご納入下さい。大会会場でも受け付けます。封筒宛名右下の数字は、未払い年度数(本年度も含む)を示します。その数×3,000円をお支払いください。

**2 出欠の連絡** 研究大会および懇親会への参加の有無を、同封の返信用ハガキにご記入の上、11月15日(土)までに必ずお知らせください。

### 3 2013年度決算報告(2013.4.1~2014.3.31)

【歳入】		【歳出】	
前年度繰越金	2,858,873	『年報』出版費	570,150
納入学会費	1,084,800	『年報』編集費	5,240
『年報』売上	58,280	『年報』送料	65,749
普通預金利子	164	通信費	99,820
計	4,002,117	企画・実行費	0
次年度繰越金	2,824,662	事務局経費	74,237
		大会開催費	174,189
		大会講師謝礼	60,000
		国際学会年会費	0
		事務謝礼	70,000
		会員名簿作成	56,700
		事務局移転費	1,370
		計	1,177,455

東洋大学(白山キャンパス)へのアクセスにつきましては、別紙をご参照ください。

12:15-13:30 昼休み・第2回委員会  
(5号館 5206室)

13:30-14:00 総会 (5号館 5208室)

14:10-15:10 【特別講演】(5号館 5208室)

「現象学を自然化する」(仮題)

"Naturalizing Phenomenology"

テヘヒー・キム (Tae-Hee Kim) 氏 (Konkuk University)

15:20-17:50 【ワークショップ1】(5号館 5103室)

「初期デリダとハイデガー——デリダの『ハイデガー』講義(1964-65)をめぐる——」

オーガナイザ・提題者: 亀井大輔 (立命館大学)

提題者: 加藤恵介 (神戸山手大学)

長坂真澄 (日本学術振興会・大阪大学)

15:20-17:50 【ワークショップ2】(5号館 5102室)

「現象学と病理学: マルク・リシールをめぐる」

オーガナイザ・提題者: 澤田哲生 (富山大学)

提題者: 塩飽耕規 (遊心会にじクリニック)

小倉拓也 (日本学術振興会・明治大学)

司会: 村上靖彦 (大阪大学)

15:20-17:50 【男女共同・若手研究者支援ワークショップ】(5号館 5101室)

『男女共同参画』と現象学

提題者: 稲原美苗 (大阪大学)

池田喬 (明治大学)

成定洋子 (沖縄大学)

司会: 中 真生 (神戸大学)

【会員休憩室】5号館 5104室

## 第36回

# 研究大会

日時: 2014年11月29日(土)・30日(日)  
会場: 東洋大学(白山キャンパス)

## 日本現象学会

事務局 〒602-8580  
同志社大学文学部哲学研究室  
Tel: 075-251-3371  
Fax: 075-251-3059  
E-mail: paj-office@pa-j.jp  
郵便振替 00980-9-109153  
HP: <http://pa-j.jp/>